

学びのイノベーション事業及びフューチャースクール推進事業の実施に係る  
京都市地域協議会第2回会議

1 日時

平成24年3月2日（金）14：00～16：00

2 会場

京都市立桃陽総合支援学校会議室

3 次第

(1) 開会

(2) オブザーバー紹介

(3) 議事

ア 平成23年度取組経過報告

イ 協議、指導助言等

ウ その他

(4) 閉会・挨拶

## 京都市地域協議会 第2回会議録（概略）

## (1) 開会・挨拶

- 北村校長から挨拶
  - ・研究発表（2/17）について

## (2) オブザーバー紹介

- オブザーバーから挨拶

## (3) 議事

## ア 平成 23 年度取組経過報告

- 情報化推進総合センター指導主事から ICT 機器，ソフト関係について説明
  - ・タブレット PC・充電保管庫・IWB の導入状況，無線 LAN の設置状況
  - ・「リモート・サイエンス・ラボ」システムの開発と活用の状況
  - ・協働学習システムの活用
  - ・クラウド型の自学自習コンテンツについて
  - ・テレビ会議システムを活用した前籍校との交流
  - ・京大病院における分教室と病室間の交流学習
- 桃陽総合支援学校総務部長から学校での取組について説明
  - ・校内研修の取組
  - ・授業での ICT 活用状況
  - ・リモート・サイエンス・ラボ，協働学習システムを利用した授業研究
- 事務局から教員向けアンケート結果について説明

## イ 協議，指導助言等

- 23 年度事業のまとめについて

## 【経過報告】

- ・分教室や病室への無線 LAN 設置までの経過（病院既存の無線 LAN への影響に対する配慮）

## 【ICT 活用の成果】

- ・分教室などの小さな集団が，ICT を通して大きな集団で協働学習できる場となる。
- ・前籍校との交流を行うために有用となる。

## 【課題】

- ・ICT を使った授業の進め方，授業を受けるルール作り。
- ・教員の ICT 活用指導力の向上，ICT による校務支援が必要になる。
- ・（一般校とは異なる）特別支援学校におけるデジタル教科書のあり方。
- ・家庭や自宅療養の子どもたちとの連携をどのように進めるか。
- ・筋ジストロフィーなど，症状が異なる学校との特別支援学校との交流も。
- ・タブレット PC が使いやすい生徒機のサイズ
- ・「包括支援プラン」とともに，指導案や授業記録などの形式を ICT 活用に適するよう検討。
- ・複式学級での ICT 活用のあり方。
- ・授業記録とその活用の方策。

## (4) 北村校長から閉会の挨拶

## 第2回会議 参加者

### 1 地域協議会委員等

(敬称略)

氏名	所属・役職
滝川 国芳	国立特別支援教育総合研究所統括研究員【座長】
松井 通記	全国特別支援学校病弱教育校長会副会長，全国病弱虚弱教育研究連盟理事長 (愛知県立大府養護学校長)
桶谷 守	京都教育大学教育支援センター教授 (コミュニティ・スクール研究推進委員長)
神月 紀輔	京都ノートルダム女子大学心理学部准教授 [公務のため欠席]
大畑 眞知子	京都市立藤城小学校長 (京都市小学校長会副会長)
森本 哲	京都市立松原中学校長 (京都市立中学校教育研究会情報教育部会会長) [公務のため欠席]
藤谷 貞之	京都市立鳴滝総合支援学校長
(氏名 略)	京都市立桃陽総合支援学校保護者代表 (PTA会長 代理) [公務のため欠席]
柴原 弘志	京都市教育委員会指導部長【副座長】 [公務のため欠席]
川井 勝博	京都市教育委員会指導部情報化推進総合センター所長【プロジェクトリーダー】
北村 光代	京都市立桃陽総合支援学校長

### 2 オブザーバー

氏名	所属・役職
新谷 壽麿	総務省近畿総合通信局情報通信部情報通信振興課長

### 3 校内推進委員会(プロジェクト)

京都市立桃陽総合支援学校教員

京都市教育委員会 総合育成支援課指導主事

京都市教育委員会 総合教育センター指導主事

京都市教育委員会 情報化推進総合センター指導主事

### 4 その他

ICT 支援員

西日本電信電話株式会社京都支店

エヌ・ティ・ティ・コム チェオ株式会社

### 5 事務局

京都市教育委員会 情報化推進総合センター